

報道機関各社 様

「新しい日常について考え、実験し、共有する」プロジェクトがスタート！ ～札幌市民交流プラザを舞台に実証実験を開始します～

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための「新北海道スタイル」を実践していくにあたり、札幌のクリエイター有志の「クリエイティブを活用して、新型コロナウイルス対策における課題解決に取り組みたい」との思いを受け、札幌市のクリエイター支援施設であるインタークロス・クリエイティブ・センター（略称：ICC）が協力し、その第一弾の取組みとして、これまで休館していた札幌市民交流プラザ内「札幌市図書・情報館」2階の開館（6月25日）と札幌市民交流プラザ1～4階フリースペースのオープン（6月26日）に合わせ、案内表示やソーシャルディスタンス確保のための仕掛けなどの実証実験を開始いたします。

また、札幌市が展開する「続けよう、新北海道スタイル さあ！サッポロスマイル」キャンペーンとも連動した取組みを行うことにより、新北海道スタイルの普及を図ってまいります。

つきましては、6月26日（金）13時より、プロジェクトの取組みや実証実験の内容について、参加メンバーからご紹介いたしますので、報道機関各社におかれましては、当日の取材等へのご協力をよろしくお願いいたします（札幌市図書・情報館1階にお集まりください）。

<プロジェクトの概要>

(1) 名称

しくみ

(2) 目的

新型コロナウイルスをきっかけに生まれる新しい生活様式における多くの課題に対して、札幌のクリエイターが知識と経験を活かしながら、様々な団体・空間と協同して実証実験を行い、その過程や制作物（制作方法）をオープンソースとして順次公開し、市内各所へ広げてまいります。

また、実験を繰り返す中で、さらに多くのクリエイターと協力し、誰もが使える「新しい日常の教科書づくり」を目指します。

(3) 参加メンバー

山岸 正美（株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ）／伊藤 千織（伊藤千織デザイン事務所）／佐々木 信（有限会社3KG）／カジタシノブ（インタークロス・クリエイティブ・センター）

(4) 札幌市民交流プラザにおける実証実験

1～4階フリースペースにおけるソーシャルディスタンス確保のための環境・プロダクトデザイン（SCARTSとの共同制作）、フリースペースの案内表示、テストコンサートにおける注意喚起の掲示物、札幌市図書・情報館の利用方法についての案内表

示・ソーシャルディスタンス確保のアドバイス

<取材にあたっての留意事項>

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、施設内に入る際は、マスクの着用と使用機材等の消毒の徹底をお願いいたします。

【問い合わせ先】

■プロジェクトの取組み、インタークロス・クリエイティブ・センターについて

経済観光局産業振興部商業・経営支援担当課 担当：守屋・磯尾 電話：011-211-2372

■札幌市民交流プラザにおける実証実験について

札幌市芸術文化財団市民交流プラザ事業部管理課 担当：工藤・宮岡 電話：011-242-5800